

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 武義高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年7月3日(月) 13:20～15:30
- 3 開催場所 武義高等学校大会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施
- 4 参加者

会 長	有川 一	中部学院大学 教授
副会長	中島 千春	本校PTA会長
委 員	辻 晃一	丸重製紙企業組合 理事長
	成瀬 孝子	美濃市社会福祉協議会 常務理事事務局長
	宮西 恵	本校PTA監事
学 校 側	加藤 信男	校長
	植田 美智留	教頭
	大野 英悟	事務長
	牧村 修	教務部長
	生駒 伸一	進路指導部長
	各務 憲之	生徒指導部長
	小澤 奈津子	特活指導部長
	原 美潮	商業部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校運営協議会委員任命、会長・副会長互選
- (2) 令和5年度 教育指導の重点、学校経営計画、各分掌より方針と重点について説明
- (3) 意見交換

意見1：・スクールポリシーにしる、各分掌の方針と重点にしる、一般的な内容にとどまっている。武義高校ならではの特徴、強み、特色ある活動をもっと思い切って出していったらどうか。
・授業で身につけなければならないことと、それらの知識をどう現場で使えるようにしていくか、仲間とのクリエイティブかつ自主的な活動につなげていくか、それらを区別して考えることも大切である。
・目的を明確化し、学校の外へ行って実際にやってみる実践の場を設けることが学校のPRにもつながる。
・新たな取り組みの中で働き方改革がネックとなるだろうが、外部専門家との連携を取り入れてはどうか。その中で果たして教員は「何の専門家」と言えるのかを理解することが、武義高校の強みを生かすことにつながる。

意見 2 : ・「普通科」の「普通」という言葉に疑問を感じる。「普通」は「個性」とは真逆の性質とも言える。普通の取組である限り、他校との差別化は難しい。地方においては、もっと「とがった」特徴が必要であり、普通であることより、「個性」を生かして思い切ったことをすることが大切。
・ビジネスにしろ、商品開発にしろ、これからの時代には「課題を解決する力」が必要であり、それ以前に「課題を発見する力」が必要になる。そういった力を育ててほしい。
・「普通」の高校であるより、より実践的な特徴を持つ「とがった」高校であってほしい。

意見 3 : ・授業見学から生徒は非常にまじめな授業態度であった。先生の教え方もよかった。
・昨年度に比べ、生徒がタブレットを使用する授業が少ないように感じた。
・2年生の教室ロッカーが乱雑で、個人情報管理について心配になった。
・本校生徒は、地域課題に着目し、課題解決のための取り組みを継続されていて、地域に貢献していることに感謝している。将来、美濃市に就職する生徒を増やしてほしい。
・文武両道を大切に、「憧れる人」を持てる生徒であってほしい。
・自転車マナーについて、武義高校から関方面に行くには長い下り坂となり、かなりスピードが出ている生徒を見かける。道路も狭く曲がりくねっている。重点に「命の大切さ」を掲げているので、自転車の安全運転について指導をお願いしたい。

意見 4 : ・生徒は授業をまじめに受けており、先生方の解説もわかりやすいと感じた。
・机の横にかけている鞆類、通路に置いた荷物の整理整頓をさせてほしい。
・先日のいじめ防止対策委員会に出席し、救急搬送が大変多くなっている学校の現状を伺った。今後は医療連携を積極的に行うなど、先生方の本来の領域以上の業務負担を減らせるとよい。

意見 5 : ・どの授業も先生方が工夫されていて、声が聞きやすいと感じた。
・少人数授業が多く、快適な冷房温度でよい環境で学んでいることがわかった。
・子供の話から、担当の先生の声掛け一つでやる気が出ることもあり、自習室等整えてもらえるとありがたい。
(進路指導部より) 冷暖房管理の自習室を用意しているが、3年生中心の活用になっているのが現状である。
・活動中に大音量で音楽をかけて練習する部があると聞いた。改善をお願いしたい。
(事実確認の結果、1回のみ応援音響テストのために行われた事実が確認できたため、該当部顧問を適切に指導した。)

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

各委員の皆さまから忌憚のない意見が得られた。いただいた意見を学校経営計画に反映して今後は地域連携をはじめとした具体的な取り組みに着手する。